

# ドイツと日本、ドイツと大阪のさまざまな関係

## —大阪大学外国語学部ドイツ語専攻



海外交流

進藤修一\*

Germany, Japan and Osaka

- German Department of the School of Foreign Studies at the Osaka University

Key Words : German Studies, International Partnership, Hermann Bohner

### ・日本と大阪にとってのドイツ

日本人の意識の中でドイツの存在感は決して小さくありません。ビール、ソーセージといった日常生活に即したのから、ベンツ、フォルクスワーゲンのような自動車、また若い人には日本人選手が活躍しているサッカー・ブンデスリーガなどなど。もっとも、ドイツは連邦共和国なので「ブンデスリーガ」とは直訳すると「連邦リーグ」になります。これに日本のサッカーファンが最近「ブンデス」という略語を使いますが、ドイツ語の観点からはまったく感心できません。「連邦」はドイツ語では「ブント」「Bund」であり、これに「リーグ」を意味する“Liga”を接続したことで、二つの単語を接合するために“Bund-es-Liga”という語尾が付いてくるのです。ゆえに「ブンデス」などという単語は独立しては存在しません。してみると、日本のドイツイメージも案外いい加減だな、とも感じさせます。しかしいざれにせよ、「ドイツ」といえば、最低なにかひとつは思い浮かぶことには変わりはありません。

そんなドイツも最近英語に押されて……という側面も確かにあるのですが、ヨーロッパにおいては依然存在感があります。金融都市フランクフルト・アム・マイン市には共通通貨ユーロを管轄するヨーロッパ中央銀行があります。またEU統合も、ドイツ

とフランスという二度の世界大戦を敵同士として戦った歴史上の仇敵が、恩讐を乗り越え明るい未来を目指したものです。なによりも、ドイツは近代において学問をリードした一等国であることを忘れてはならないでしょう。日本の近代化にドイツは大きな役割を果たした、とはよく言われることです。明治以来のお雇い外国人のなかには多くのドイツ人がいました。東京医学校へ赴任したエルヴィン・ベルツ(1849-1913年、在日1876-1905年)、京都府医科学校(現京都府立医科大学)、東京職工学校(現東京工業大学)で教鞭を執った、窯業のゴットフリート・ワグネル(正式に発音すればヴァーゲナー、1831-1892年、在日1868-1892年)などが日本の教育に大きな影響を与えました。

大阪大学外国語学部の前身である大阪外国語大学外国語学部ドイツ語専攻(時代によって名称はことなりますが)でもこれまで数多くのドイツ人が教鞭をとりましたが、特筆すべきはヘルマン・ボネル先生でしょう。ちなみに、ドイツ語の発音にできるだけ忠実かなを振りますと「ボナー」となるのですが、ご自身が「私はボネルです」とおっしゃっていることが、本専攻の大先輩でもある井上純一先生のご論考で示されています<sup>1</sup>。大阪外大の前身である大阪外国語学校は林蝶子女史の寄付金により、1922年大阪市上本町八丁目に開校しました。ボネル先生は開校とほぼ同時に着任され、約40年間にわたり教鞭をとりました(その間、大阪外国語学校、大阪外事専門学校、大阪外国語大学と三度も名称が変わりました)。ボネル先生はドイツの大学で哲学や神学を学び、本来は日本とはなんの縁もないはずでした。ところが、教師として派遣された中国・青島滞在時に第一次世界大戦が勃発、ボネル先生も志願兵として対日戦を戦うこととなったのでした。日本軍は青島を陥落させ、多くのドイツ人俘



\*Shuichi SHINDO

1965年4月生  
同志社大学大学院文学研究科博士後期課程(1995年)  
現在、大阪大学大学院言語文化研究科  
言語社会専攻 准教授 修士(文化史学)  
ドイツ教育史  
TEL : 072-730-5357  
FAX : 072-730-5357  
E-mail : sshindo@lang.osaka-u.ac.jp

虜が日本へやってきたのは有名なお話ですが、ポーネル先生もそのひとりとして、板東俘虜収容所（徳島県）に収容されたのです。その後ポーネル先生は大阪外国語学校初代校長の中目覚先生に誘われて、教員として着任することになったわけです。先生のように日本にやってきたドイツ人俘虜のなかには、「ユーハイム菓子店」を創業するカール・ユーハイム、名古屋の製パン所で技師長を務めた後、神戸でベーカリー「フロイントリーブ」を開いたハインリヒ・フロイントリーブ、また関西ではややなじみが薄いですが、かつて東京で有名なドイツ料理店であった「ケテル」を立ち上げたヘルムート・ケテル（習志野収容所に収容される）など、日本の文化に影響を与えた人間が大勢います。ポーネル先生もそのなかのおひとりであり、大阪大学外国語学部ドイツ語専攻もこの歴史的な出来事につながっていることは特筆してもよいでしょう。

#### ・大阪大学とドイツの学術交流提携大学

このように、日本も、阪大外国語学部もドイツと深いつながりがありますが、いまでもドイツに魅力を感じて、ドイツ語専攻（一学年定員35名）のうち、かなりの学生がドイツの諸大学へ留学をします。大阪大学は現在9大学（アーヘン工科大学、アウクスブルク大学、エアランゲン・ニュルンベルク大学、ミュンヘン工科大学、ミュンヘン大学、ハイデルベルク大学、ビーレフェルト大学、ボーフム大学、フランクフルト大学<sup>2)</sup>）と大学間学術交流協定を結んでいます。ハイデルベルク大学は1386年に創立されたドイツ最古の大学で、今年、625周年を祝いました。同大学の歴史を見ると、有名な関係者には化学のブンゼン、社会学のマックス・ウェーバーがおります。最近ではツァ・ハウゼン教授が2008年にノーベル医学生理学賞を受賞しました。同大学の教員、出身者、関係者のノーベル賞受賞者は総計50名以上になります。それ以外にも有名大学が名を連ねています。かつて有機化学のリービヒやレントゲンも教鞭を執ったミュンヘン大学（関係者にノーベル賞受賞者30名）、理系の雄アーヘン工科大学（同5名）、ミュンヘン工科大学（同16名）、など錚々たる大学が大阪大学のパートナーです。また、ドイツ語圏のオーストリアでもウィーン大学と協定を結

んでいます。ウィーン大学の関係者では物理学のボルツマンやマッハ、シュレーディンガー、精神医学のフロイトが著名です。言語文化研究科・外国語学部が部局間協定を結んでいる大学にはゲッティンゲン大学（文学研究科・文学部と共同）、デュッセルドルフ大学の2大学があります。ゲッティンゲン大学は1905年にOBのロベルト・コッホがノーベル医学賞を受賞してから、ほぼ1-3年おきに関係者がノーベル賞を受賞するという華々しい成果を挙げ、これは「ゲッティンゲンのノーベル賞の奇跡」とまで呼ばれました。デュッセルドルフ大学は、正式名称を「ハインリヒ・ハイネ大学」といい、ユダヤ研究の拠点でもあります。ドイツ語専攻の学生に限らず、阪大の学生すべてが、このように留学先に恵まれています。出かけるまえは少々頼りなくもあり、送り出すこちらが不安に思う学生たちも、留学を終えると見違えるようにたくましくなって帰ってきます。留学の効用とは語学の修得だけではなく、人間の陶冶だということを再認識させられるばかりです。

明治以来脈々と築かれてきた日独関係は、形をかえながらも大阪大学や、外国語学部ドイツ語専攻で継承されている、ということ言い過ぎでしょうか。



フランクフルト大学

ドイツで発展した化学工業各社が1925/26年に統合し、IGファルベン工業を設立した。この建物はその本社ビルとして建設された（設計：ハンス・ペルツィヒ）。このビルの建設前、ここにはフランクフルト市の病院があり、そこに勤務していたのがA. アルツハイマーであった。第二次世界大戦後同ビルは米軍に接収されたが、2001年以来フランクフルト大学の所有となっている。フランクフルト大学は大阪大学の学術交流提携校のひとつ。



Deutschland, Japan und Osaka.

Deutsche Abteilung der Fakultät für Auslandswissenschaften an der Universität Osaka  
Shuichi SHINDO

Die Beziehung zwischen Deutschland und Japan/Osaka

In Japan hat fast jeder Vorstellungen über Deutschland. Sei es über alltägliche Lebenskultur wie Bier oder Wurst, sei es über berühmte Automarke wie Mercedes oder Volkswagen, sei es über die Fußballbundesliga, wo viele junge japanische Fußballspieler aktiv sind... Es herrscht Englisch als mächtigste Fremdsprache in aller Welt, Deutsch spielt aber auch in Europa eine wichtige Rolle. In Frankfurt am Main befindet sich die Europäische Zentralbank, die als Symbol der europäische Einigungsprozeß gilt. Die Vereinigung Europas kann man sich deswegen ohne Deutschland nicht vorstellen.

Deutschlands Einfluß beschränkt sich nicht nur auf Europa. Man muss sagen, dass das moderne Japan seit Meiji-Zeit vieles von Deutschland lernte: Man kann leicht viele großen Namen wie Erwin von Bälz oder Gottfried Wagener nennen. Erwin von Bälz nahm seine Lehrtätigkeit an der Tokyo-Igakko (diese Schule entwickelte sich zur medizinischen Fakultät der Universität Tokyo). Wagener unterrichtete in mehreren Schulen z.B. in der Kyoto-Fu-Ikagakko (jetztige Medizinische Universität der Kyoto-Prefäktur) und in der Tokyo-Shoko-gakko (jetztige Technisches Institut von Tokyo, Titech). Solche Männer tragen dabei bei, das japanische moderne Hochschulwesen zu gestalten.

In der deutschen Abteilung der Universität Osaka gab es in ihrer Geschichte viele Lehrer aus Deutschland: Man muss als erster Hermann Bohner nennen. Hermann Bohner studierte in Deutschland Philosophie und Theologie. Nach seinem Studienabschluss bewarb er sich um eine Lehrerstelle in Tsingtau/China, das damals deutsche Kolonie war. Nach dem Ausbruch des Ersten Weltkriegs kämpfte er als Freiwilliger gegen japanische Armee. Nach der Kapitulation deutscher Armee in Tsingtau kam Bohner wie seine Kammeraden in die Kriegsgefangenschaft in Japan. Er verbrachte seine Jahre in Bando/Naruto (Tokushima). Bei der Gründung der Osaka-Gaikokugo-Gakko 1922 wurde er als Lehrer berufen, war für fast 40 Jahre lang dort tätig.

Universität Osaka und ihre Partneruniversitäten in Deutschland.

Universität Osaka hat jetzt mit 9 deutschen Universitäten akademische Austauschverträge. Darunter gibt es weltberühmte Universitäten wie Heidelberg, LMU München oder TH München. Viele Studenten der deutschen Abteilung haben Gelegenheit, an diesen Universitäten im Austauschprogramm zu studieren.

Einst und jetzt hat man bei uns an der Universität Osaka immer dichte Beziehungen zu Deutschland.

1 井上純一「牧師館の子ヘルマン・ポーンネル」、[http://koki.o.oo7.jp/08.10.20\\_inoue.htm](http://koki.o.oo7.jp/08.10.20_inoue.htm) (2011年7月10日閲覧)

2 ドイツの大学には正式な名称がありますが、ここではドイツでもよくおこなわれるように、所在地をもって通称としています。